

よしぶえ

編集・
淀川河川公園広報委員会
事務局・
〒570 守口市外島町4-18
☎06-994-0006
(財)河川環境管理財団

注目の「ひらかた水辺公園」・姿現わす。

淀川河川公園には現在、35地区が整備され、多くの人々に利用されています。この広大な淀川河川公園の中心拠点として、これまでにない“人と水のふれあい空間づくり”をめざして計画されたのが、ひらかた水辺公園(枚方地区)です。ここ、ひらかた水辺公園は枚方大橋に隣接し、京阪神地区を中心とする、近畿圏の人々が日帰りで利用できる便利な場所に整備が進められています。気がるに遊びながら水とふれあい、交流するとともに、新たな文化を創造することができる空間をめざして、平成5年度事業に着手し、平成8年に一部完成を予定しています。また、大阪国体ではカヌー競技会場として利用されることも決定しています。現在、水辺プロムナード・淀川アクシアター・淀川流域自然園(琵琶湖・大滝)などの施設が、姿を現わしつつあります。



木屋元町地区

■サッカー・ラグビー場、野球場など 装いも新たに、10月1日(土)オープン!

河口より22km地点の左岸にある木屋元町地区で改修の進められていたサッカー・ラグビー場、野球場

がこのほど完成。10月1日からサッカー・ラグビー場①、野球場②、テニスコート③などの他児童コー

ナー、休憩広場、芝生広場と幅広い使用ができるようになりました。

淀川河川公園ウォッチング

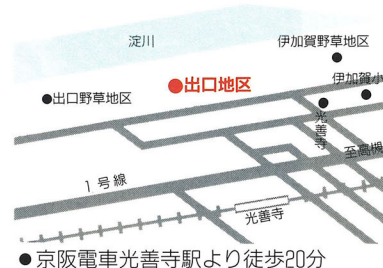
庭園のような水辺の安らぎ

出口地区

淀川河口から23km~24kmの地点の左岸側に、約1kmで広がる出口地区。中流域から上流域を望むこの地区は、淀川をはさんでゴルフ場が間近かに感じられ、堤防上から見る公園全体は、池がある庭園のような独特の雰囲気があります。河が湾曲する上流側の水管橋や枚



方大橋の眺めは印象的です。出口、伊加賀、両野草地区にはさまれた芝生広場、トリムコース、児童コーナー、そしてサイクリングロードは、のんびり休日をすごす、やすらぎの時間を与えてくれます。



淀川越しに生駒連山を遠望

鳥飼野草地区

淀川河口から約18km付近の右岸に広がる、水辺の風景を楽しめる鳥飼野草地区です。この野草地区は鳥飼大橋と鳥飼西地区の上流に位置し、水辺の葦の中からはヨシキリなどの鳥の声が聞こえてきます。夏から秋にかけてガマの穂が咲き出す季節になりますと、対岸の大日地区越しに生駒連山が澄んだ空気のなかに青く遠望でき、初秋の陽光に光るガマの穂が、季節の淀川を強く印象づけ、自然をぞんぶんに楽しめる河川公園です。



大人気! 冬の主役 **ビバスケート**

守口地区 (守口フィットネスリゾート)



この秋にオープンした守口フィットネスリゾートの室内スケート場「ビバスケート」は、冬の到来を待たず、連日多くの人たちで大にぎわい。夏のメインプールは、永面積約1,400㎡のアイスアリーナに早変わり、フィギアスケートやアイスホッケーも楽しめます。またスケート教室も開かれ、ビギナーコース、テクニカルコース、短期集中コースなどクラスや目的に合わせた人気教室になっています。



平成6年度	大人	中学生	小人
平日	1,200円	1,000円	800円
日・祝・(1/2~1/7)	1,500円	1,300円	1,100円
ナイター17時以後	800円	700円	600円
平日共通回数券	4,400円	3,600円	2,800円
定期券	6,000円	5,000円	4,000円
貸靴	600円	600円	600円

営業期間 10月2日(日)~5月5日(祝)(平成6年度) 12月31日と1月1日のみ休館
営業時間 平日……………12時~19時
日・祝日・1/2~1/7……………10時~19時

- 定期券は貸靴別。日・祝日・正月も利用可。顔写真入。
- 守口スポーツプラザ131Jスケート教室
※ビギナーコース(4コース1ヶ月単位、週1回・月4回)
※テクニカルコース(6コース同上)
※短期集中コース(冬休みコース・春休み1コース)

守口スポーツプラザ 守口市外扇町4-18
TEL.06-993-2825

- 京阪電車「守口市駅」から徒歩15分。地下鉄谷町線「守口駅」・京阪バス「地下鉄守口」バス停から徒歩7分。

シリーズ2

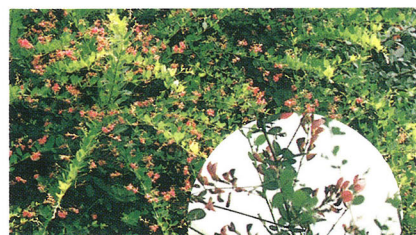
快適な水辺空間を演出する 淀川の樹木たち 『秋に花咲く樹木』編

淀川は、都市化の進行するなかであって、身近かに自然とふれあえる、長さ30数kmもの長大な水辺の遊空間です。そこには四季の草花・昆虫・魚・鳥など、さまざまな生きものが息づいています。淀川河川公園は、場所の特性を生かし、自然地区・景観保全地区・野草広場地区・施設広場地区に区分され、多くの樹木が植栽されています。

淀川河川公園の植栽は、次の目的と効果を考え、整備されています。

- ✦季節の花木類を群植することで、単調な空間に変化を与え、特色のある快適水辺空間をつくります。
- ✦小鳥の好む実のなる樹木は、生きものに優しい空間をつくります。
- ✦スポーツ施設周りの植栽は、楽しい休息空間をつくります。
- ✦園路沿いの植栽は、静かで安全な歩行空間をつくります。
- ✦駐車場やその他の施設周りを、生垣植栽で囲み、ハードな施設の印象を柔らかくするよう工夫しています。

今回は、秋に花咲く樹木を中心に一部をご紹介します。



ハギ
Lespedeza thunbergii
■マメ科;ハギ属
■落葉広葉樹 ■高さ2-3m

秋の七草の一つで野趣が感じられます。花の期間も長く、夏から秋まで咲き続けます。やせ地にもよく育成し肥料木として用いられます。花が終ると地際から刈り込むと翌年の芽出しがよくなります。



ヒイラギ
Osmanthus netrophyllus(G. Don) P.S. Green
■モクセイ科 モクセイ属
■常緑樹 ■高さ3-5m

山地に自生もしますが、ふつつ庭に植えられます。樹は多くあり、葉は対生し卵形か楕円形で、縁に数個の歯があり先が針になっていて触れると痛みます。秋になると白色小形の合併花を開き、よい香りを発します。雄花と雌花があり異株。果実は楕円形で紫黒色、6~7月に熟します。



アベリア
Abelia grandiflora
■スイカズラ科 ツクバネツツギ属
■半常緑広葉樹 ■高さ2-3m

別名ハナソノツクバネツツギと云われ、花がつく羽根の形をしています。白や淡桃色の花が6-11月まで咲き続け、蝶などの昆虫を集めます。萌芽力が強く刈り込みに耐え病虫害に強いことから、本公園に最も多く用いられています。



キンモクセイ
Osmanthus fragrans var. aurantiacus Makino
■モクセイ科
■常緑樹 ■高さ4m

中国原産で、古くから庭園に植えて花を観賞する常緑低木で知られています。花は10月~11月葉腋(ようえき)に多く集まって咲き、花冠は黄赤色で深く4片に裂け、特に、強い甘い香りを発することで喜ばれ、有名なです。



ハマヒサカキ
Eurya emarginata
■ツバキ科 ヒサカキ属
■常緑広葉樹 ■高さ2-4m

葉は濃緑色で光沢があります。名のとおり海浜に自生し、乾燥に強く、やせ地にも耐え、病虫害のないのが特長です。秋の花期には嫌な匂いがしますが、風通しのよいところでは感じられません。



サザンカ
Camellia sasanqua Thuno
■ツバキ科
■常緑樹 ■高さ7-8m

日本特産のツバキ科のときわ木で、古くから花木として庭園に栽培されています。ツバキに似ていますが、若い枝には細かい立った毛がはえています。花は小さく短い枝に発生。花は10月~12月の初冬に、紅をおびた5弁花として、一個ずつ枝の先に咲きます。

● 公園に咲かそうマナーの花いっぱい

10月はマナーアップ強化月間

10月1日～31日は、マナーアップを呼びかける強化月間になっています。淀川河川公園は、都市の中

の自然と親しめる、貴重な水辺のレクリエーション空間として、年々その施設も充実し、利用する

人々の数も増加しています。それにともない、公園利用のマナーを無視した一部の人の危険な行為も目立ちはじめました。たとえば、野草広場でのゴルフや野球、オートバイの暴走、また後仕まつの悪い釣、不法駐車、

焚火、ゴミの不法投棄、ペットの糞尿放置などがあります。これらの行為は、せっかくの憩いの場をだいなしにするだけでなく、家族連れの人々などにとっても危険でめいわくな行為といえます。

現在、河川公園では様々な方法で、マナーアップをPR、協力を呼びかけています。そのひとつとして、淀川沿川市町の11箇所巡回写真展も行なっています。



平成6年10月
～平成7年3月

淀川河川公園 後半 イベントご案内

平成6年

- 10月15・16日 秋の緑化祭・植木市(守口地区)
- 10月26日 ゲートボール大会(仁和寺野草地区)
- 11月6日 淀川マラソン大会(太子橋地区)
- 11月20日 淀川フェスティバル(太間地区)
- 11月23日 淀川の自然を楽しむ会(伊加賀野草地区)

平成7年

- 2月19日 淀川の自然を楽しむ会(背割堤地区)



● 淀川マラソン大会



● 淀川フェスティバル



● 緑化祭・植木市